

七
卷
一
十四
年
四
月

大瀧江筋から平町のみではなく内郷、湯本各町村も取水計画を樹て、将来は玉川、小名濱等でも引水の計画を立てることある。

小名濱商港問題並に平水道問題兩問題のためであるが、之にして知事は語る。

題で統総してゐる平水道の取
入れ口を視察する事になつた
のは三年も四年も町が紛擾を
つづけてゐる事はまことに遺
憾であるから地方平和のため
調査した上出来るなら圓満解
決に努力する考へである。
と仲裁の意志ある事を示してお
つた。

事になつた、二十一日の取引は
双葉郡久之濱、大久兩村等から
出荷あり六百余貫の取引あり價
格白蘭最高七十五圓八寸錢で品
質良好であつた、め買人は何れ
も競争入札を行つたので買駒七
十三圓を示した。

な取引をする事が出来ず爲めに
蘭市場の悪宣傳を行ひ又は不正
取引をなしつゝある事を知つた
四倉署では内々仲買人を調査中
の處四倉町宇原田仲買人松本某
(四〇)は市場の相場を亂す様な
事を言ひ觸らし不正な取引を行
つて居た事發覺十九日本署に引
致取調べを受けが不正仲買人は
徹底的に取締たる方針であると

園として一ヶ年二萬七千石である。

之を見た東日杉本君「何だね？」と例の調子で皮肉る。返事に窮した野村氏「いや鑑毒水だよ」と言つて退け涼しい顔をする。

圓滿解決に努力する

1

石城貿易と月経合資市場にて
十六日取引開始後毎日千五百貫
の取引あり連日盛況を呈して
大浦、大野、草野

町は勿論附近の
の養蠶家が興

に申請中の處、愈々七月一日
より平穀物検査所菅野技手が同

汽車を待つてゐたとは氣の毒
な話だ。

二十一日午後四時古川、小野、
草野各石城郡選出縣會議員の出
迎へを受けて泉驛に下車した伊
東本縣知事は自動車で小名濱町
に至り中隈土木課長の案内で小
名濱築港を詳細に視察し午後五
時から同町小學校に開かれた盛
大な歡迎會に臨み旅館新米に投
宿、二十二日午前七時中隈土木
課長、神成縣屬、國分技手等を
随へて自動車を驅り好間村なる
平水道取入口附近を視察するが
平水道の出頭當時から今日に至
め平水道取入口監視所に至る、
伏見平町長は同所にて知事に對し

警察署に落
出を不長
午前十時十
促進會代表
伊東知事を
行政訴訟
に水利權
問になつ
いとすれ
ねばなら
町が有つ
も、大瀧
他何處下
方法は知

近進會でも すに陳情

川高 命に著する解決を疑ながれぬか

といふ意味の陳情をなし、終つて萩原、吉田(五)兩町議も水槽部分水が平町に有利な事を陳情的に説明する處あり、之に對し知事は「相當考慮する」と答へ、最後に知事は陳情に對し、解決促進會の如き團體は他にあるのかと問ひ、之に對し、許可反対同盟會及び水道研究會の二團體がある旨を答ふる處あり、午前十時五十分平驛發列車で平町の有志約二百余名の見送りを受け上京した。

小家東一郎▲外物を以て心と
なす阿部傳▲模倣は自殺なり
小坂貞一▲奮闘と成功補正光
▲日新の世に立ちて三年高岡
清▲空氣の力菅藤一▲活動に
生きよ秋本藤之助▲生の雄叫
び四年關原幸▲平安文學に就
て五年佐藤剛▲未定坂田千平
▲病床幻想高田彌内▲生靈の
ごよめき渡邊豊▲所感唐土校
長▲閉會の辭本部委員中野喜
一

非常な好績を納めて

四 倉 蘭 市 塩 閉 鎖

成績良好な

簡易保険

平郵便局では目下田村局長以下

は未だ一般に保険思想が普及してゐぬため人口千に対し入率百二十の割合で他地方にし未だく加入率が低いので後大いに勧誘に努める事になつた。

新館陳列 六月一日 比加徹今夕長屬平町三丁目六番
◆昭和式 中形
◆昭和式 手拭中形
◆名古屋しづぼり
是非御覽を願ひます

知事平水道を視察
青沼・阿部兩町議
反対理由を陳情

此点に努力して貢む所は、現在の大瀧江筋水路は天然のまゝで危険であるし、又發電所が出來れば、水量、水質等も相當影響を蒙る事と思ふから、發電所設置後と雖も平町が永遠に利益を得らるゝ様な

國民の進路一年渡邊清也人
の踏むべき道矢島力▲毒がす
岡田健治▲相手を動かす手紙
の書方鈴木敏行▲國家の興亡
大河内寅雄▲我等の覺悟鈴木
憲治▲少年の意氣猪狩敏行▲
町端山軍氏から廣告料金の名義
製し之を持ち歩いて横濱市松本
十時精一、吉本眞一各氏から給

て簡易保険加入勧誘に努めて
るが今年度同局の責任勧誘數
義二萬七千口のところ既に一萬
千の新加入契約を見八月下旬
でには責任口數の加入勧誘を

廿夕
二
日刊
支那時報
日報
支那

福島縣石城郡西町細原印十四
福島縣石城郡西町細原印十四
副行人印田弘成
福島縣石城郡平町細原印十四
刷所如坡活版所
福島縣石城郡平町細原印十五
行所磐城時報社
一部金貳錢一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字諸金五十錢
日刊(日曜、祭日)休刊

新新聞社主幹
石城出身
鹿島村生 品川
一日午前十一時より同校講堂に於て開催されたが辯士及び演題次の如く非常なる盛會裡に午後四時閉會した。

▲開會の辭本部委員渡部豊▲
挨拶本部長山崎(光)教諭▲吾

と稱し
者を荒す

稽に轉落したのを元平選送會員が發見直ちに抱き上げたので生命は取り止めた。

麥酒
同新
麥鑊
熱帶

日同鑑同富同郵
糖新紡新紡新船

◎ 第一部
止付寄株當先中當新問

東京株式清算取引高低表

先他當東
限株中先

新	新	久	鹽
日	石	原	水
新	淺	鹽	
東	鐘	原	
寄付	高値	安値	引領
四六	四八	四六	四公
三五	三五	三五	三三
二三	二三	二三	二二
一三	一三	一三	一六

同	富	同	自	同	淺	日
新	紙	新	動	新	野	セ
二	七	一	三	四	五	六
八	六	三	二	一	七	八
二	七	六	六	七	八	九
日	同	日	魯	太	原	久
粉	新				同	新

東株式會社
先限ノ
他株
當先限

◎ ベビー服
◎ 小學生通學服
◎ 婦人洋傘
◎ 縮シヤツ
◎ 麦藁帽子各種

ツルヤ洋品店

男 中、近づく魂の三つ巻、三十巻は消が鏽が孝郎表映で謝るるのりのち福感かかれてる

上希 映望 はそ存れ ひじのた 卷六

映壽

ステキに理想的な石炭のコーカス
物は試し是非一俵御使い下さい。如何に廣告よりも
實物が優れて居るかわかりませうから……

寒暖言體溫
イマヅ蠅取粉 小三〇 半ポンド二・一〇
計量衡 指定販賣人 西村屋藥局 一ポンド一・九〇
ステキに良い石炭とコークス

外各種出来合品有り
運動のシーズン
各種運動衣帽富
大塚支店 製靴部
磐城の平・田町〔電話七〇二番〕

かぐるく
涼しき
丈夫な白靴

内科、外科
婦人科 小兒科
花柳病科

藤 沼 紺屋町(電話五〇七番)

醫院

田町本通り(電話一一四番)

城 城 病院

婦人科耳鼻咽喉科
赤心堂吉田眼科
専門院紺屋町(電話六八番)

外
科
醫
院
上
田
外
科
醫
院
專
外
科
門
上
田
外
科
醫
院
南
町
(電
話
二
九
番)

内科 外科
耳鼻咽喉科
花柳病科
高久病院
田町（電話一三五番）
松村病院
南町（電話一〇七番）

門
原
歯
科
土橋通り(電話三一一番)
専
門
科
原
歯
科
医
院

平町病醫院案内